福島県立医科大学 学術機関リポジトリ

FUKUSHIMA MEDICAL UNIVERSITY

Title	自然科学講座　先端化学分野(論文・著書・発表等)
Author(s)	
Citation	福島県立医科大学業績集. 29: 344-346
Issue Date	2019-03-19
URL	http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/842
Rights	©2019 福島県立医科大学
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2024-04-28T19:04:23Z

Fukushima Medical University

日本医史学会雑誌. 63(2):226.

〔その他〕

藤野美都子. のびやかに生きることができる社会に ～ふくしま男女共同参画プランを手掛かりとして～. 第 16 回福島男女共生のつどい; 20171126; 二本松. 報告集. 10-15.

自然科学講座　数理情報学分野

論　　文

〔原　著〕

過年業績

神谷諭一, 岡田達也, 関口　健, 塩田安信. 一般化された数系に関するべき和と指数和への測度論的アプローチ. 数理解析研究所講究録. 201612; 2013:139-151.

研究発表等

〔研究発表〕

岡田達也. フラクタルとデジタル和. 第 41 回総合科学研究会; 20170324; 福島.

自然科学講座　先端化学分野

論　　文

〔原　著〕

Kobayashi D, Kakinouchi K, Nagae T, Nagai T, Shimura K, Hazama A. Cesium reversibly suppresses HeLa

cell proliferation by inhibiting cellular metabolism. FEBS Letters. 201702; 591(5):718-727.

Taniguchi N. Unsymmetrical Disulfide and Sulfenamide Synthesis via Reactions of Thiosulfonates with Thiols or Amines. Tetrahedron. 201704; 73:2030-2035.

〔その他〕

谷口暢一. 金属触媒によるリン－硫黄結合生成反応の最近の展開（有機金属ハイライト）. Organometallic News. 201703; (1):37.

谷口暢一. 銅触媒を用いた３成分カップリングによるアルケニルスルフィド・スルホンの合成. 福島県立医科大学総合科学教育研究センター紀要. 201711; (6):1-6.

研究発表等

〔研究発表〕

谷口暢一. 銅触媒を用いたチオスルホナートとアミンとのカップリングによるスルフェンアミドの合成. 第 97 日本化学会春季年会; 20170316-19; 横浜.

谷口暢一. 銅触媒によるアリールボロン酸を用いたカルコゲン元素のジアリール化. 第 64 回有機金属化学討論会; 20170907-09; 仙台. Abstracts. 138.

志村清仁. タンパク質医薬分析における免疫抽出とキャピラリー等電点電気泳動の直接結合. 日本分析化学会第 66 年会; 20170909-12; 東京.

志村清仁, **長井俊彦**. APCIEF によるエリスロポエチン等電点バリアント分析の最適化. 第 68 回日本電気泳動学会総会; 20171124-25; 広島.

長井俊彦, **志村清仁**. PDMA コートキャピラリーを用いた紫外部吸収検出による IEF 条件の基礎検討. 第 68 回日本電気泳動学会総会; 20171124-25; 広島.

志村清仁, **長井俊彦**. APCIEF によるエリスロポエチン電荷バリアント分析の問題点とその解決. 第 37 回キャピラリー電気泳動シンポジウム; 20171128-30; 仙台.

谷口暢一. 銅触媒を用いたチオールとアミンとのカップリングによる硫黄－窒素結合の構築. 第 112 回有機合成化学シンポジウム; 20171206-07; 東京. 講演要旨集. 72-73.

志村清仁. 新規バイオマーカーのための免疫電気泳動装置. ライフサイエンス　新技術説明会　～医療系大学～; 20171214; 東京.

〔シンポジウム〕

志村清仁. 免疫抽出とキャピラリー等電点電気泳動を一体化した分離法のタンパク質医薬分析における可能性. 第67回日本電気泳動学会シンポジウム　バイオ医薬÷電気泳動：電気泳動でみるバイオ医薬品の特性; 20170609; 東京.

〔招待講演〕

Taniguchi N. Aerobic Copper-Catalyzed Coupling of Disulfides with Sodium Sulfinates, and its Application. International Symposium on Pure & Applied Chemistry 2017; 20170615-17; Ho Chi Minh, Vietnam. Souvenir Programme and Abstracts. 183.

自然科学講座　分子細胞生物学分野

論　　文

〔原　著〕

Suzuki S, Kasai K, Nishiyama N, Ishihara A, Yamauchi K. Characteristics of the brown hagfish *Paramyxine atami* transthyretin: Metal ion-dependent thyroid hormone binding. General and Comparative Endocrinology. 201708; 249:1-14.

著　書・訳　書

松岡有樹（編纂委員）. 渡辺　浩 著. 「新・福島県の蝶」編纂委員会 編. 新・福島県の蝶：A new guide to butterflies of Fukushima. ワタコ出版; 201704.

研究発表等

〔研究発表〕

西山学即, 松岡有樹, 山内清志. ヌタウナギ(*Paramyxine atami*)トランスサイレチン結晶化条件の検討. 日本動物学会平成29年度東北支部会; 20170730; 青森.

五十嵐城太郎, 松岡有樹. グロビン結合型ジグアニル酸シクラーゼ DgcO の一酸化炭素結合による構造変化と活性調節機構. 第40回日本分子生物学会年会・第90回日本生化学会大会（2017年度生命科学系学会合同年次大